

## 日野町財政事情公告

日野町財政事情の作成及び公表に関する条例（昭和 30 年日野町条例第 31 号）第 2 条および地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により、令和 2 年 3 月 31 日現在の公営企業の業務状況をここに公表する。

令和 2 年 6 月 2 6 日

日野町長 藤 澤 直 広

# 令和元年度下半期(10月～3月) 水道事業業務状況報告書

## 1. 概況

### (1) 受水状況

当町の水道事業は、県が運営する湖南水道用水供給事業により、水道水を賄っています。

令和元年度下半期の受水状況は右表のとおりであり、1日平均受水量は7,327.2m<sup>3</sup>で、昨年同期と比べて日量75.6m<sup>3</sup>(1.0%)の増となりました。

湖南水道用水供給事業からの受水状況

	令和元年度	平成30年度	比較増減
10月	234,975	224,778	10,197
11月	230,115	218,333	11,782
12月	228,286	226,227	2,059
1月	216,705	226,203	△ 9,498
2月	208,714	203,519	5,195
3月	222,086	220,732	1,354
計	1,340,881	1,319,792	21,089
日数	183	182	1
日量	7,327.2	7,251.6	75.6

(単位:m<sup>3</sup>)

### (2) 有収水量

令和元年度下半期の給水状況は、給水人口20,313人(R2.3.31現在)で前年度より2人減少しました。また、1日平均有収水量は6,183.4m<sup>3</sup>で、昨年同期と比べて14.1m<sup>3</sup>(0.2%)の減となりました。

(1日1人当たりの有収水量は304ℓ)

令和元年度末における使用給水栓数は、昨年度から176栓増加し7,988栓となっています。

調定有収水量の比較増減

	令和元年度	平成30年度	比較増減
10月	167,981	166,973	1,008
11月	217,769	213,808	3,961
12月	157,932	161,161	△ 3,229
1月	214,011	218,831	△ 4,820
2月	161,090	157,770	3,320
3月	212,788	209,408	3,380
計	1,131,571	1,127,951	3,620
日数	183	182	1
日量	6,183.4	6,197.5	△ 14.1

(単位:m<sup>3</sup>)

### (3) 建設改良事業の状況

令和元年度の建設改良事業は、9年計画の6年目となる主要幹線配水管の布設替工事を実施しました。

### (4) 経理の状況

#### ア、予算の補正の状況

東部配水池内における配水管布設替え工事について、滋賀県企業庁の送水管布設替え工事と同時施工であるため、当該分の予算を令和元年度当初予算の補正予算として計上しました。

#### イ、予算の執行状況

令和元年度の予算執行状況は、次のとおりです。予算執行状況(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

### ●収益的収支

(単位:円)

科目	当初予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	補正予算額	流用増減額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
水道事業収益	658,062,000	0	0	0	658,062,000	669,172,093	101.7
営業収益	584,271,000	0	0	0	584,271,000	591,205,037	101.2
営業外収益	73,791,000	0	0	0	73,791,000	77,967,056	105.7
水道事業費用	622,850,000	0	0	0	622,850,000	578,927,279	92.9
営業費用	598,335,000	0	0	0	598,335,000	556,809,587	93.1
営業外費用	23,515,000	0	0	0	23,515,000	22,117,692	94.1
予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0.0

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

●資本的収支

(単位:円)

科目	当初予算額	繰越額による財源 充当額及び繰越額	補正予算額	流用増減額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
資本的収入	39,881,000	0	15,000,000	0	54,881,000	27,526,260	50.2
国庫補助金	22,390,000	0	10,000,000	0	32,390,000	12,025,000	37.1
出資金	11,100,000	0	5,000,000	0	16,100,000	0	0.0
工事負担金	6,391,000	0	0	0	6,391,000	15,501,260	242.5
資本的支出	253,682,000	0	30,000,000	0	283,682,000	154,853,045	54.6
建設改良費	209,898,000	0	30,000,000	0	239,898,000	111,069,679	46.3
企業債償還金	43,784,000	0	0	0	43,784,000	43,783,366	100.0

(注)資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

ウ、決算の状況

① 損益収支

営業収益は、前年度と比較して総額で3,720,135円の増額となりました。これは、給水収益およびその他営業収益である水道加入金(水道の新規加入件数)の増加によるものです。近年、節水機器の普及や節水意識の向上等によって水需要が低下傾向であり、当町の水道使用量も平成27年度までは年々減少してきていたのですが、平成28年度より続いた寒波の影響により、夜間凍結防止のために水道水を使用されたこと等により、ここ4年間は増加しています。令和元年度は年間配水量で0.9%増加となりました。

営業費用は、漏水修理やポンプ等の修繕費が増加しましたが、委託料の減少によりわずかに減額となりました。

この結果、令和元年度の経常利益は81,929,097円となり、利益剰余金200,855,035円となりました。

●比較損益計算書

(単位:円)

科目	令和元年度 決算額(A)	平成30年度 決算額(B)	比較増減	
			(A) - (B)	(A)/(B)%
水道事業収益	622,693,475	617,327,943	5,365,532	100.9
営業収益	544,729,187	541,009,052	3,720,135	100.7
営業外収益	77,964,288	76,318,891	1,645,397	102.2
特別利益	0	0	0	-
水道事業費用	540,764,378	546,315,103	△ 5,550,725	99.0
営業費用	527,395,986	528,054,052	△ 658,066	99.9
営業外費用	13,368,392	18,261,051	△ 4,892,659	73.2
特別損失	0	0	0	-
当年度純利益	81,929,097	71,012,840	10,916,257	115.4

※損益計算書は消費税抜きの額です。

② 財務状況

令和元年度末の総資産は、前年度より146,564,580円減少し、4,124,239,879円となりました。負債についても242,694,508円減少し、1,815,991,582円に、資本については96,129,928円増加し2,308,248,297円となりました。

●比較貸借対照表

科目	資産の部			科目	負債および資本の部		
	令和元年度 決算額	平成30年度 決算額	比較増減		令和元年度 決算額	平成30年度 決算額	比較増減
固定資産	2,877,909,829	2,945,012,942	△ 67,103,113	固定負債	684,372,972	729,519,061	△ 45,146,089
流動資産	1,246,330,050	1,325,791,517	△ 79,461,467	流動負債	142,246,095	283,702,009	△ 141,455,914
				繰延収益	989,372,515	1,045,465,020	△ 56,092,505
				負債合計	1,815,991,582	2,058,686,090	△ 242,694,508
				資本金	1,714,706,811	1,714,706,811	0
				剰余金	593,541,486	497,411,558	96,129,928
				資本合計	2,308,248,297	2,212,118,369	96,129,928
合計	4,124,239,879	4,270,804,459	△ 146,564,580	負債資本合計	4,124,239,879	4,270,804,459	△ 146,564,580

※貸借対照表は消費税抜きの額です。

### ③ 企業債の状況

令和2年3月31日現在の企業債の現在高は661,519,061円です。

#### エ、令和2年度の事業および予算の概要

清浄な水道水の供給によって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、本年度も、1日平均7,400m<sup>3</sup>の水道水の供給を予定しています。水道水の安定供給を図ることを目的に、住民生活に欠くことのできないライフラインの維持管理を行うとともに、引き続き健全な水道経営を目指すと共に企業努力に努めてまいります。

また、平成26年度から5年計画で実施してきた北山の主要幹線配水管の布設替について、西部配水池まで区間を延長し9年計画で耐震化工事を進めていくこととしています。

#### 令和2年度当初予算の概要

##### ● 収益的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
水道事業収益		683,080	
	営業収益	611,863	
	営業外収益	71,217	
水道事業費用		627,420	
	営業費用	603,789	
	営業外費用	22,631	
	予備費	1,000	

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。

##### ● 資本的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
資本的収入		22,345	
	国庫補助金	11,568	
	出資金	5,700	
	工事負担金	5,077	
資本的支出		354,775	
	建設改良費	309,628	
	企業債償還金	45,147	

(注) 資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。